



されて価格の変動なども予想されます。コスト的にも課題がありますね。しかし、そのような中でも、できる限り地元のもの子どもたちに食べてもらいたいと思っています。それらを踏まえて検討委員会の皆さんにさまざまな議論をしていただきたいと思っています。

朝長市長 ごみの減量化は何のためにやるのかというと、やっぱり地球温暖化対策のため二酸化炭素を削減するという考え方が基本にあると思います。これは世界的に取り組まなければいけない問題で、日本全体でも、また当然、各自治体でも力を入れていかなければなりません。

朝長市長 やるべきことがたくさんあり、財政状況が一層厳しくなっていく中で、いかに政策を実行していくかということが難しいですね。これからの時代は、高齢者支援や子育て支援をはじめ、経済の活性化や産業振興など、たくさんあることをやっていかななくてはなりません。どれも必要なものから、これらに緊急性、必要性などにより優先順位をつけて、判断していかなければなりません。そこが大変難しく、苦勞するところじゃないかなと思いますね。市民の皆さんからの要望はたくさんありますが、健全な財政運営を維持しないと、他市町村のように自治体が破綻することもありませんからね。なるべく借金は増やさずに、健全財政を保ちながら、最小の経費で最大の効果を生み出していくところが一番難しいですね。

市長室にて  
市長から「座っていいよ」の一言に皆さんびっくり！市民第一主義を唱える朝長市長のいすは、常に市民の近くにありま



朝長 則男 (ともなが・のりお)  
昭和24年2月12日生まれ (58歳)  
第28代佐世保市長

止めることができないのが現状です。非常に残念でなりません。このようなこともあり、働く場をつくっていくことは、本市の最重要課題の一つに位置付けています。昨年、企業立地奨励金制度なども大幅に拡充しましたが、このほか、商工業や農林水産業、行政など、関係者がより一層連携を強化して、取り組みをさらに進めていきたいと考えています。

朝長市長 苦勞することは何ですか？  
(永川さん)

◎対談を終え、朝長市長の印象をひとことと言つと…  
永井さん「まつすぐに感じの人でした」  
金光さん「温かい雰囲気を感じました」  
永川さん「佐世保のことをいろいろな面から考えていらつしやるんだなと感激しました」  
◎朝長市長、対談を終えて…  
若い皆さんがこうして市政に興味を持たれることは非常に良いことだと思います。若い人の考えというのはとても有益なことが多いと思いますし、政策を考える際の参考になりますから、今後このような機会をたくさん設けたいと思います。



長崎県立大学 (佐世保市川下町)  
経済学科、地域政策学科、流通・経営学科からなる経済学部と、産業経済・経済開発専攻を持つ経済学研究科で構成されています。平成20年4月には県立長崎シーボルト大学と統合し、新たな長崎県立大学が誕生します (設置認可申請中)。

④実は、家庭系ごみを捨てる際に「ごみ処理券」を張ることを、面倒くさく感じています。ごみ処理の有料化を導入してどれくらい効果があるのでしょうか？ (永井さん)

みの減量化につながるかということには、私もちょっと疑問に思っています。有料ごみ袋にごみ処理券が必要な今の二段階方式では、市民の皆さんの負担が非常に大きいという声もあります。今のやり方は、処理券の無料配布の範囲で抑えようと、出すごみ袋の数を減らしたり、使えるものは使おうということ資源ごみに出したり、そういう意識が働く要因にはなっていると思います。家庭系ごみに関しては、有料化導入前の平成十六年度よりも16%減になっているという事実もあります。ところが、市民の皆さんの中には、十分にご理解いただけない方もいらつしやつて、例えば家庭系ごみと事業系ごみの区別をあいまいにされるなど、結果的には事業系ごみも全部合わせて比較すると、全体で1.4%しか減量になっていないんです。本市の一人当たりのごみの排出量についても、県下二十三市町と比較すると十九位、十三市では十一位と、決して良い状況ではありません。他の市町では二段階方式ではなくて、ごみ袋の有料化だ

けをやつておられるところもあります。ですから私は、市民の負担を減らしながら、ごみ減量化の意識付けもさらにできるシステム、そういうものができないかと考えています。また、計画的に減量することができ、その効果を持続させることも大切です。当然、ごみ処理券を配るコストをはじめ、市の運営コストなども考えなければなりません。このようなことを総合的に考えながら、マニフェストに示したように、ごみ処理券制度は基本的に変更するという方向で、審議会などで改善策を協議していただき、できるだけ早い時期に、新しい制度をお示ししたいと思っています。

⑤県立大学生の約九割が市外に就職している現状(表1)です。そのことに、市長はどのような感想を持っていますか。また、就職しても引き続き佐世保に暮らし、市の活性化の一躍を担えるような、産業、雇用、企業誘致について何か対策はありますか？ (金光さん)

朝長市長 優秀な人材が市外に流出していくことは非常に残念だと思います。満足できる働き先があれば、ふるさとの家族の近くで生活したいという人はたくさんいると思います。しかし、若い皆さんの希望に沿うような就職先が少ない今の本市では、そういう人たちを引き

(表1) 平成18年度長崎県立大学生の就職状況

	男	女	合計
卒業者数 (人)	324	128	452
就職者数 (人) a	251	104	355
うち市内就職者 (人) b	19	6	25
市内就職率 (%) b/a	7.6	5.8	7.0



されて価格の変動なども予想されます。コスト的にも課題がありますね。しかし、そのような中でも、できる限り地元のもの子どもたちに食べてもらいたいと思っています。それらを踏まえて検討委員会の皆さんにさまざまな議論をしていただきたいと思っています。



けをやつておられるところもあります。ですから私は、市民の負担を減らしながら、ごみ減量化の意識付けもさらにできるシステム、そういうものができないかと考えています。また、計画的に減量することができ、その効果を持続させることも大切です。当然、ごみ処理券を配るコストをはじめ、市の運営コストなども考えなければなりません。このようなことを総合的に考えながら、マニフェストに示したように、ごみ処理券制度は基本的に変更するという方向で、審議会などで改善策を協議していただき、できるだけ早い時期に、新しい制度をお示ししたいと思っています。